

# Step UP!

2015年 3月 5日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 26

編集責任者 情 宣 部

## 2015春闘!!

# 第3回交渉報告

中央本部は3月4日本社にて

**組合の要求の根拠!!** 「春闘第3回交渉(要求の根拠)」を行って来ました。

- ①消費税引き上げや、物価上昇、更には各種公共料金の値上げ等で可処分所得は減少している。生活を維持していくためにも6000円のベースアップは当然の要求!!
- ②働きやすい職場環境を整備すると共に、「人」に対する投資としてベースアップの実施、55歳以上の賃金ダウン改善、契約・臨時社員及び嘱託社員の賃金改善は経営陣の責務!!
- ③15年連続ベアゼロの影響により組合員の生活は限界にきている。一方で組合員の努力により主要列車の純平日のコンテナ積載率は70%後半まで上昇し、今年度も経常利益を計上できる状況であり、会社の支払い能力は十分である!!
- ④自然災害や輸送障害に対して組合員は、超過勤務や休日出勤にも協力し全力を挙げている。この苦勞に報いる為にB単価の増額(126/100→127/100)は必須。社員構成は平成採用者が7割を超え、結婚・出産など新たな生活基盤を抱えており、扶養手当の増額や諸要求の改善は切実な要求!!
- ⑤これまで自ら立てた計画が未達であっても会社経営陣は誰も責任を取っていない。そのような会社の姿勢に不安を抱えている。会社経営陣は組合員の不安を解消し、安心して働く事ができる将来展望を明確に示す事が必須条件である。その現し方は「要求満額回答」という目に見える形で応えよ!!

## 対して会社は

- ①今年度について経常利益は計上できる見込みだが、鉄道事業部門は赤字幅が拡大している。来年度の事業計画の策定にあたり、鉄道事業部門の黒字化に向けて慎重に判断する。
- ②現時点で定期昇給を含めた考え方について示す事は出来ない。第4回交渉で明らかにする。

## 青年部からは

退職が50人出ているが想定の範囲内とする考えに対し、退職を考えている人まで把握できているのか、モチベーションが上がるような回答を示せ。と会社に突きつけました。

**青年部員の皆さん!!無責任な会社姿勢にNOを突き付け、満額獲得に向け団結して闘おう!!**